

「救いたい心」をつむぐコミュニケーションマガジン

赤十字NEWS

Japanese Red Cross Society NEWS

<https://www.jrc.or.jp>

令和3年4月1日(毎月1日発行) 赤十字新聞 第971号 昭和24年9月30日 第三種郵便物認可

APRIL 2021 NO.971

4



わたしも赤十字 寄付の協力者 丸山香南 (まるやま・かな) さん【P.4でご紹介】

特集

コロナ禍で 看護師になるということ

人間を救うのは、人間だ。



赤十字新聞 編集・発行/日本赤十字社 広報室 〒105-8521 東京都港区芝大門 1-1-3 TEL: 03-3438-1311 一部20円 赤十字新聞の購読料は会費に含まれています。

 **日本赤十字社**
Japanese Red Cross Society

130年の歴史を有する日本赤十字看護大学(東京・広尾)。2020年は4月に開校した「さいたま看護学部」と都内校舎をあわせて232人の入学者があった。しかし、コロナ禍の影響で入学後はオンライン授業、初登校は7月の健康診断、という異例の年となった。

日本赤十字看護大学
THE JAPANESE RED CROSS COLLEGE OF NURSING

コロナ禍で 看護師になる ということ



この記事の拡大版がWEBで読めます

歴史的な苦難に立ち向かう医療従事者。中でも常に患者のそばでケアを行う看護師には、大きな負担が掛かっています。コロナ禍で看護師を志す人、育てる人、それぞれの思いを聞きました。

コロナ禍で看護を学んだ1年 「苦しむ人に寄り添って、癒やす人になりたい」

「脳梗塞で倒れて意識のない祖父に、やさしく声を掛けながらマッサージを続けてくれた看護師さん。彼女のその姿に病室にいた家族全員が癒やされて、私も泣きそうになりました…」

小学校5年生のときに見た光景を振り返るのは、日本赤十字看護大学1年生(取材時)の神崎薫子さん。その経験から看護師への憧れを抱くようになったが、成長するにつれ、迷いが芽生えた。「看護師の仕事がいかに大変か、知れば知るほど、自分のできるのかなって。進路を決めなさいいけない高校2年生の時に、自問自答を繰り返しました」

迷いが吹っ切れたのは、些細なことがきっかけだった。朝の通学途中、目の前を通り過ぎた人が物を落とすのを目撃。それを拾って追いかけて、その人に手渡したところ、「『わあ、ありがとう!』って、感謝されて。その一言で胸の中が温かくなったんです。その時、神崎さんの頭に浮かんだのは祖父をマッサージしてくれた看護師だった。寄り添うことで、患者も、その家族も癒やす。…そうだ、私が幸せを感じるの、誰かにありがとうと言ってもらえる仕事なんだ。そう確信し、進路を決めた。「でも、入学してみたら想像もなかった状況に。入学式もなく、9月に週1日登校するようになるまで友人もできず、オンライン授業で疑問に思っ

たことを誰かに確認したい、と思っても相手がいなくて…半年は気持ちが晴れませんでした。その後、登校授業で友人ができ、意欲が高い同級生に囲まれて、日々刺激を受けるようになった。

「オンラインの演習は、対面で行う演習よりも先生と学生のやり取りが明確に聞き取れるので深く学べるという利点があります。ただ、実習ができなかったのは残念で…」本来ならば、1年生は2週間の病院実習、2年生は5週間の病院実習がある。学生たちは実習の2週間前からアルバイトや外出を控え、感染対策を徹底し、大学もギリギリまで病院と調整したが、感染者数の増加で断念、学内の実習に変更となった。「でも学内の実習は、先生が私たちのために必死に用意されたことが伝わり、心に残りました」と、神崎さん。

このような状況で看護師になることに不安はないか、あらためて尋ねてみた。

「不安は少し、あります。妹がぜんそくなので、感染を持ち込む心配がある場合は、家族を守るために家を出なさいって考えます。でも看護師は、今のコロナ禍で社会に安心を作っている存在ですから、そんな看護師に私も早くなりたく、と思います」しなやかな心で困難に立ち向かい、その使命を諦めない。頼れる未来の看護師がそこにいた。



日本赤十字看護大学
1年生
※2021年3月現在
かみさき ゆきこ
神崎 薫子さん

2020年4月、日本赤十字看護大学に入学。



先輩看護師にアドバイスをもらう愈さん。新人研修など集合して学ぶ場は少なくなったが、病棟では先輩看護師から手厚い指導を受けている。



基礎看護の講習を行う教室で。細野先生にとって、コロナ禍の教育は初挑戦の連続だった。



日本赤十字社医療センター
血液内科病棟
ゆい こだ
愈 智恵さん
2020年3月、日本赤十字看護大学を卒業、
4月に日赤医療センターに入職。

緊急事態宣言と共に スタートした看護師1年目

*新型コロナウイルス感染症の対応病棟

「コロナ病棟*に勤務する先輩たちの大変さを考えると、申し訳ない気持ちになります」

そう話すのは看護師1年目の愈智恵さん。新人の看護師が新型コロナウイルス感染症の患者を担当することはない。それでも、「担当する患者さんの命にも関わるので、徹底して感染対策をしています」…危機感は一層強い。愈さんは緊急事態宣言が発令されるのと同様に看護師になった。働き始めた現場はマスクや医療資材が不足し、常に逼迫した状況。愈さんは、大学4年の2月から外食や不要の外出を控える自粛生活を続けている。自宅と病院を往復するだけの日々の中で、新

人ならではの悩みを抱え、落ち込むことがあっても、離れて暮らす家族には心配を掛けずに話している。「看護師の国家試験に合格した後、一度は実家に帰りたいかった。でも、感染流行で帰郷できず、家族とは2年近く会っていません。仕事の失敗や悩みがあっても発散しづらいです。でも、患者さんに寄り添える看護の仕事はやりがいがあるので。頻繁な消毒で赤くなった手を握り締めて、愈さんは静かに語る。看護師の役目として大切な患者家族のケアがコロナ禍でできないことに未消化の思いを抱きつつ、彼女は看護の仕事に向き合っている。

そばにいる。言葉にならない部分もくみ取る。 看護の「正解」は、教科書に載っていない

病院実習は中止、技術を磨く演習もオンラインに。看護学生にとって逆境ともいえる状況を看護大学の細野知子先生は冷静に見つめる。「実習がないのは確かに痛手です。初めての实習で学生は、つらそうな様子の患者さんになかなか近づけません。どう接していいかわからず、怖いです。そういう経験を通して、学生は突きつけられます。そこで求められている看護はどういうものか。自分に何ができるのか。病気や治療のことが分かっても、看護はできない。患者との関係が築けて、その患者が何に困っているかを察知する、そこから看護が始まると、先

生は考える。「高度な技術を身につけて専門性の高い仕事をする看護もあります。看護の原点は“そばにいること”。そして、看護師が真摯に取り組むべきことは『問題解決の先にあること』。例えば大きな手術を終えた患者が、その先の人生をより良く生きるために、看護師はどう支えればいいのか。それは教科書に載っていません。今、神崎さんたちのように高いモチベーションを持った学生たちは、学びが制限されているからこそ、乾いたスポンジが水を吸うように意欲的に学んでいます。教育法にも新風が吹き、看護教育は新たな局面を迎えています」

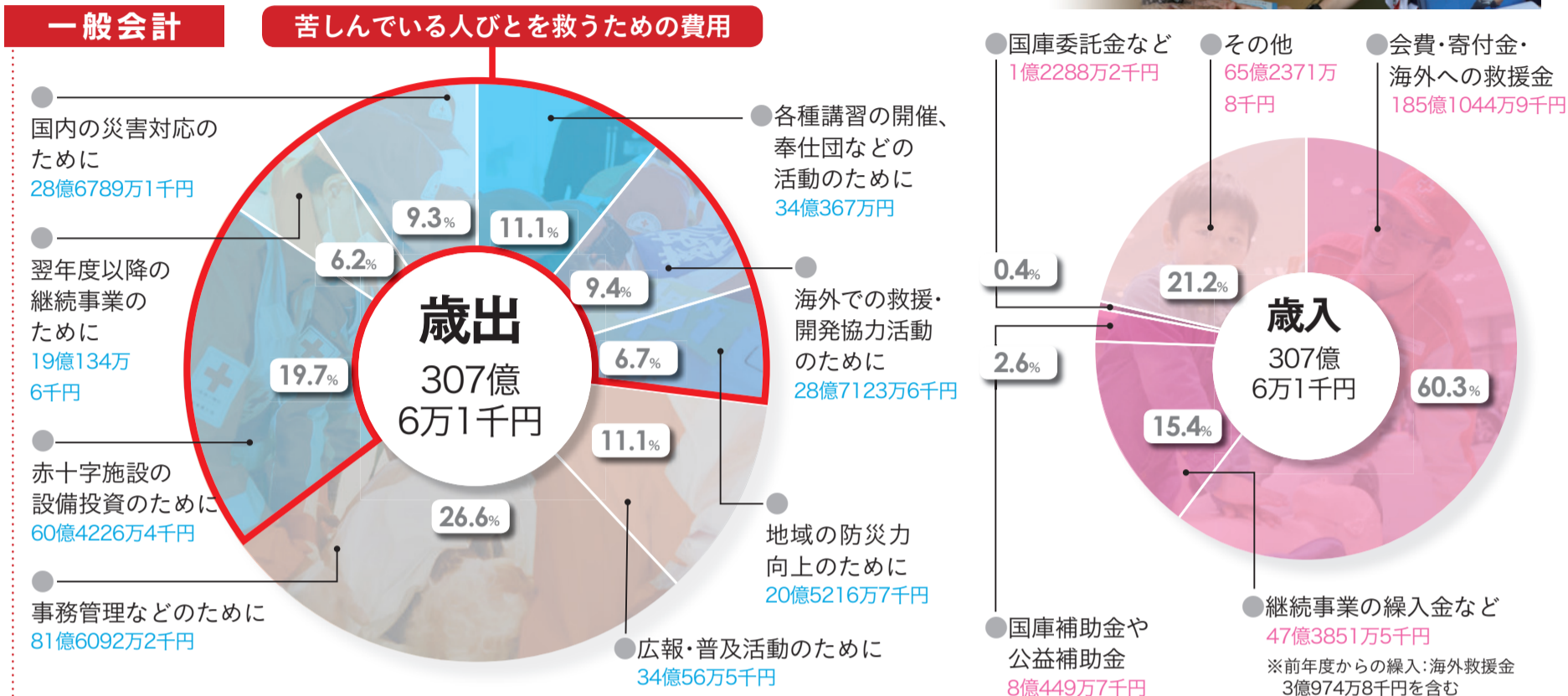


日本赤十字看護大学
講師・看護学博士
ほその ともこ
細野 知子さん

看護師・保健師として約10年従事した後、大学院で博士号取得。専門は慢性期看護・看護哲学。

令和3年度 日本赤十字社の予算概要

「苦しんでいる人を救いたい」という理念の下、日本赤十字社は災害救護活動や国際救援活動をはじめとして、さまざまな事業を展開しています。それぞれの事業によって財源は異なり、全国の個人・法人の会費および寄付金などを主な財源とする「一般会計」と、各事業での収益を財源とする「特別会計」があります。なお、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症への対応を当面の最優先事項として取り組むとともに、同感染症に対する新たなニーズに重点的に対応していきます。



特別会計

医療施設

診療収益を主な財源として、病院運営のための費用などに充てられます。

収入 1兆1052億8583万7千円

支出 1兆1337億5926万8千円

差引額

- 284億7343万1千円

血液事業

輸血用血液製剤供給収益を主な財源として、安全な血液製剤を安定的に供給するための費用などに充てられます。

収入 1649億106万2千円

支出 1617億9395万5千円

差引額

31億710万7千円

社会福祉施設

措置費、委託費、介護保険、自立支援費、診療収入および地方自治体からの補助金を主な財源としています。

歳入 198億3682万円

歳出 156億5409万8千円

差引額

41億8272万2千円

上記予算には新型コロナウイルス感染症に係る補助金を見込んでいないが、令和3年度に交付された場合は、収支が改善する可能性があること

注) 1.上記の数字につきましては、端数の四捨五入による表示となっているため、合計が100%になりません 2.「一般会計」の各合計額には、本社・支部・施設間の内部取引額を含んでいます 3.「一般会計」には東日本大震災義援金にかかる歳入歳出予算は、含まれていません 4.「特別会計」における収入とは「収益的収入」、支出とは「収益的支出」、差引額とは「収益的収入支出差引額」のことです ●詳細は日本赤十字社ホームページでご確認ください

わたしも赤十字

今月の表紙

赤十字にはさまざまな形で赤十字の活動に参加する支援者がいます。全国の支援者の中から毎月お一人を、温かいメッセージと共にご紹介いたします。



寄付の協力者

丸山香南 (まるやま・かな)さん
茨城県つくば市 / 20歳 / 大学生

JRC*活動で学んだことは、私の自信になっています

*青少年赤十字

今、私は医療系の大学の3年生です。私が幼い頃、難病指定の病気で入院した母を支えてくれた看護師さんに憧れて、看護師を目指しています。赤十字への寄付は、大学1年生の春に、赤十字のパンフレットに入っていた案内をきっかけに始めました。今は感染症対策のために外出を控えていて、アルバイトなどもできないけれど、高校時代からの赤十字とのご縁を持ち続けたいという気持ちで、これまでにためたお小遣いから少額ずつですが寄付を続けています。

茨城県立竹園高等学校に在学中、私はJRC部に入部していました。人のためにできることをしてみたいとずっと思っていたので、古紙回収で市に車椅子を寄贈したり、筑波山の清掃活動をしたり、活動を通してさまざまな人たちと交流が持てたことは貴重な経験でした。JRCの活動の中でも、シンガポールへの海外派遣で学んだことは、

今でも自信につながっています。海外で言葉に不安もある中、現地の学生ははとともフレンドリーに積極的に話しかけてくれました。知ろう、学ぼうとする姿勢が大切なんだと、教えてもらった気がします。今はコロナ禍で大学もオンライン授業ばかりで、人と会うのも難しい状況ですが、コロナが落ち着いたら、後輩たちのためにも高校生の海外派遣事業を継続してもらえると嬉しいです。

寄付するあなたも赤十字です

- クレジットカードで寄付
- 郵便局・銀行の口座振替
- 郵便局・銀行の窓口
- お近くの日本赤十字社窓口

詳しくはこちら →



TOPICS コロナ禍で見直される 命をつなぐ「さい帯血移植」

新型コロナウイルス感染症への対応で人との接触を避けるような対応が求められ、そのために骨髄・末梢血ドナーのコーディネートが進まないなどの理由から骨髄移植が減っています。反対に需要が高まっているのがさい帯血移植。「さい帯血」とはお母さんと赤ちゃんを結ぶへその緒と胎盤の血液のことで、造血幹細胞を多く含み、白血病などの病気に苦しむ患者さんの移植治療に使われています。さい帯血移植では、出産後にさい帯血が採取され、さい帯血バンクに保存されるため、ドナーが移植時に改めて外出する必要がありません。コロナ禍でも移植症例数は増加し、3月に2万症例を突破しました。国に指定された支援機関として、日赤はこれからも、さい帯血移植の普及啓発に取り組んでいきます。

さい帯血を提供したお母さんの言葉



コロナ禍での妊娠・出産は不安が尽きませんでした。大切な我が子のへその緒を提供でき、うれしく思います。さい帯血バンクの存在がさらに広く認知され、一人でも多くの患者さんが元気になれることを願っています。(Aさん)



小さな命がつなげる命。どうせ捨ててしまうのなら、さい帯血で救える命がそこにあると、協力させていただきました。病気で苦しんでいる皆さんが、自分らしく一日でも長く生きられますように!! (Kさん)



義母が白血病の闘病中、第一子の妊娠がわかりました。さい帯血移植のおかげで義母は元気に過ごしています。第三子にして初めてさい帯血の寄付ができる病院での出産がかない、貢献することができました。(Oさん)

3月17日
2万症例突破!

新しい命が
誰かの未来を
救うという奇跡。

さい帯血移植 20,000 症例突破
ありがとう!

お母さんと赤ちゃんの
「さい帯血」は、
移植を待つ患者さんを救う
希望となります。

日本赤十字社は造血幹細胞提供支援機関として、公的さい帯血バンクの活動をサポートしています。

日本赤十字社 北海道さい帯血バンク/日本赤十字社 関東甲信越さい帯血バンク/
一般社団法人 中部さい帯血バンク/日本赤十字社 近畿さい帯血バンク 詳しくはこちら
特定非営利活動法人 兵庫さい帯血バンク/日本赤十字社 九州さい帯血バンク bmdc
造血幹細胞提供支援機関 事務局: 日本赤十字社 血液事業本部 技術部 造血幹細胞管理課

詳しくはこちら →→→→→→→→→→
造血幹細胞移植情報サービスサイト
www.bs.jrc.or.jp/bmdc/2021/03/post_156.html



東大脳に
挑むぞ!

知識を深める赤十字QUIZ

出題 東京大学クイズ研究会(TQC)

知ってるつもりでも、意外と知らない赤十字のこと。
東大クイズ研が手掛ける問題にあなたは正解できる!?

はじめまして、東京大学クイズ研究会(TQC)です!
今月から始まるこちらの連載では、私たちTQC会員が赤十字に関するクイズを毎月1問ずつ出題します。赤十字について楽しく知っていただけるよう頑張りますのでお楽しみに♪初回のテーマは「赤十字マーク」。まずはこのマークに関する歴史や約束について詳しくなりましょう!それでは問題です!



今月のクイズ

難易度: ★★★

赤十字マークについての説明で、この中に間違っているものが1つある。それはどれでしょう?

シント
人種や宗教など、世界中のさまざまな人への配慮が感じられます

- 1 戦争中に「赤十字マーク」を掲げている人や場所を見かけた場合、それがたとえ敵国のものであっても絶対に攻撃してはならない。
- 2 赤十字マークは赤十字社の創設者アンリ・デュナンの出身国であるスイスに敬意を表して作られたものである。
- 3 赤十字マークは混乱を防ぐためにデザインが統一されており、現在使用が認められているのは「赤十字マーク」と「赤新月マーク」の2つのみ。
- 4 「日本赤十字社およびその関連施設」と、「法律などに基づいて使用が認められた組織」以外ではどのような形であっても赤十字マークを使用してはいけない。

答えはP.6へ

AREA NEWS

全国各地
あなたの生活のすぐそばで
日本赤十字社の活動は行われています。

千葉県

子どもたちがお菓子作り！ 小児科病棟でバレンタイン

2月8日、成田赤十字病院の小児科病棟で「バレンタインイベント」が開催されました。NPO法人ミルフィーユ小児がんフロンティアーズの方々の協力で、入院している子どもたちがお父さんお母さんと一緒にチョコレートのお菓子作りを体験。子どもたちは手をチョコレートだらけにしながら自分で作ったお菓子をおいしそうにほおばり、笑顔あふれるイベントとなりました。



鈴カステラに色とりどりのチョコをトッピング。簡単で楽しい！

秋田県

雪に埋もれる乳児院をお助け！ 頼れるボランティアが出動

今年は降雪が多く、秋田赤十字乳児院の職員は日々除雪作業に追われましたが、奮闘むなく雪はどんどん降り積もりました。そんな中、2月6日に協同組合安心リフォーム協議会の方々が、ボランティア活動として重機による除雪作業を実施。重機に興奮した子どもたちが「がんばれー」と熱い声援を送る中、あっという間に玄関前や駐車場から雪がなくなりました。



同協議会のボランティア活動は毎年実施され、今回で11回目

和歌山県 富山県

100年を超える育成の歴史に幕 看護専門学校、最後の卒業式

3月3日、富山赤十字看護専門学校が最後の卒業式と、閉校記念の碑の除幕式を挙行了しました。126年の歴史の中で看護師にとって世界的な荣誉であるナイチンゲール記章の受章者を4人輩出した同校。記念碑は同校が併設されていた富山赤十字病院の敷地内に建立されています。また、和歌山赤十字看護専門学校も最後の卒業式となり、116年の歴史に幕を下ろしました。



伝統の制服を身を包んだ19人の卒業生が閉校記念の碑を囲む

東京都

御朱印のようなスタンプ集め 「神社de献血」が人気です

医師、神社の神職などで組織される(一財)国際災害対策支援機構の主催で開催された献血活動が人気を博しています。コロナ禍で会場確保が困難な中、神社に献血会場を設置する取り組みで、協力者にはスタンプ帳をプレゼント。各神社に神社名入りのスタンプが用意され、御朱印のようにスタンプ収集が楽しめます。2月、世田谷区の松陰神社では約60人が参加しました。

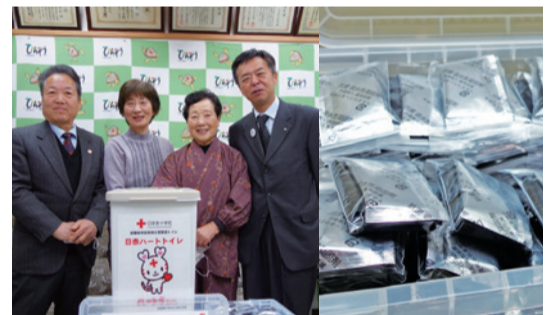


東京の18カ所の神社のほか、兵庫県、大阪府にも拡大中

岐阜県

水なしで使える簡易トイレ 2000回分を奉仕団員が寄贈

日赤岐阜県支部の七宗町赤十字奉仕団は、日頃取り組んできた公共施設の掃除の奉仕活動がコロナ禍で中止となったことから、災害時に水がなくても使用できる簡易トイレの作製を開始。約2000回分を手作りし、七宗町に寄贈しました。「日赤ハートトイレ」と名付けたこの簡易トイレは、コミュニティセンターなど避難所となる3施設と七宗町役場に配備されています。



パッケージの中には初めてでも使用できるように説明書も同封

全国

各地で「東日本大震災から10年」行事、 さらに「ACTION! 防災・減災 一命のために今うごくー」プロジェクトを実施

東日本大震災から10年の節目に、全国の日赤支部ではさまざまな活動が催されました。

2月28日、博多駅前で、日赤福岡県支部と福岡県赤十字血液センター共催の「赤十字防災・献血キャンペーン」が初開催。防災・減災への関心を高めるPRを行いながら、コロナ禍においても変わらない献血の必要性を伝え、協力を呼びかけました。

3月7日、和歌山県支部ではJRC*1の高校生を対象にWEB研修会を実施。講師として招かれたのは宮城県の赤十字防災ボランティアリーダーで水上安全法の指導者でもある安倍淳さん。安倍さんは津波に流された体験を参加者64人に伝えました。

3月11日、長崎県支部では、3.11直後に被災地に入り、避難所の様子を知る長崎県支部職員らがボランティアと共に啓発のミニイベントを実施。災害の記憶を伝える展示を行うとともに、計100食の炊き込みご飯をハイゼックス袋で炊飯し、隣接する長崎原爆病院を利用する人々にも振る舞いました。

*1 青少年赤十字



救護車両や震災当時の救護活動のパネルなどを会場に展示



炊き出しを行った青年赤十字奉仕団メンバー

日本赤十字社は、新プロジェクト「ACTION! 防災・減災 一命のために今うごくー」を3月に実施しました。このプロジェクトは、近い将来起こりうる災害に目を向け、日本全体で防災意識を高めるムーブメントを起こす取り組みです。Twitterを活用し、「災害への備え」を画像やテキストで投稿することで知恵や工夫が拡散されるキャンペーンに20万件以上の投稿があり、1投稿につき100円が賛同企業から日赤の防災減災をはじめとする活動に寄付されました。また、同プロジェクトの趣旨に対して200社を超える企業から賛同をいただきました。また、日赤支部でもSNSを活用した啓発企画を展開。愛知県支部では、「Jリーグ・名古屋グランパス」などパートナーシップ協定を結ぶスポーツチームと協働して、試合会場に赤十字ブースを出展。SNS協力者に日赤とグランパスの「ACTION! 防災・減災限定コラボバッジ」をプレゼントするなどの企画でプロジェクトを盛り上げました。



オンラインで被災体験を語る安倍さん(写真左)



イベントで名古屋グランパスとのコラボバッジをプレゼント

●「ACTION! 防災・減災」プロジェクト SNSアクション数と賛同企業数

「#あなたの備えがみんなの備えに」ツイート&リツイート件数	23万6132件*2
賛同企業数	203社

*2 2021年3月25日現在

理事会開催報告

令和3年3月19日に全国社会福祉協議会会議室(新霞が関ビル)において開催予定だった理事会は新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、中止となりました。そのため文書審議をもってこれに代え、その結果は下記のとおりです。

- 記
- 第97回代議員会に付議する事項について(役員選出、令和3年度事業計画および収支予算)
 - 予算の補正について(一般会計)
 - 規則の改正について(日本赤十字社会計関連規則)
- 審議の結果、第97回代議員会に付議する事項については、原案のとおり第97回代議員会に付議することが了承され、予算の補正および規則の改正については原案のとおり議決されました。
- なお、常任理事会の理事については、諸星 衛、加藤 誠、加藤 秀郎、利根 忠博、中西 一順、武田 政義、藤家 幸子、田代 知代の各氏が選出されました。

代議員会審議結果公告

令和3年3月19日に新霞が関ビル「全社協・灘尾ホール」において開催予定だった第97回代議員会は新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、中止となりました。そのため文書審議をもってこれに代え、その結果は下記のとおりです。

令和3年4月1日
日本赤十字社

- 記
- 第1号議案 役員選出について
副社長1名および理事13名が次のとおり選出されました。

- | | |
|-----------|-----------|
| 副社長 中西 宏明 | 理事 加藤 誠 |
| 理事 諸星 衛 | 理事 町田 錦一郎 |
| 理事 小笠原 弘 | 理事 竹内 希六 |
| 理事 利根 忠博 | 理事 坂口 康一 |
| 理事 瀧 義弘 | 理事 坂内 康一 |
| 理事 横河 信治 | 理事 谷野 光司郎 |
| 理事 松村 誠 | 理事 中富 一榮 |
| 理事 愛甲 三郎 | |

第2号議案 令和3年度事業計画について
原案のとおり議決されました。

第3号議案 令和3年度収支予算について
原案のとおり議決されました。

常任理事会開催報告

令和3年3月18日、令和2年度第9回の常任理事会が開催されました。今回の常任理事会は、付議事項はありませんでしたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う各対応状況、令和2年度「NHK海外たすけあい」キャンペーン実施結果、予算の補正にかかる社長専決事項について、それぞれ報告しました。
※オンラインによる開催となりました。

ニッポンの赤十字ゆかりの地を巡る

vol.1

赤十字名所紀行

桜に映える、赤十字の発展に寄与した初代総長の銅像

春は満開の桜が美しい上野公園。JR上野駅から公園をまっすぐ進んだ場所にある動物園の入り口近くに、馬上の銅像が建っています。モデルは、日本赤十字社の前身である「博愛社」の初代総長、小松宮彰仁親王殿下(当時、東伏見宮嘉彰親王殿下。明治15年に改名)です。小松宮彰仁親王殿下は明治維新後の数々の内乱鎮圧に手腕を発揮、西南戦争の負傷者救護活動を行った博愛社が改称して日本赤十字社となったのちに、日本赤十字社総裁も務め、赤十字活動の奨励・発展に貢献しました。銅像建立は、初代社長の佐野常民によって赤十字社設立25周年記念として提案され、日本における西洋彫刻の先駆者・大熊氏廣によって制作されました。

像の近くには、ソメイヨシノよりひと足早く見頃となる桜の原木があります。一重咲きで小ぶりのかわいらしいこの桜は、この銅像の近くで見発見されたことにちなみ「コマツオトメ」と名付けられました。

小松宮彰仁親王銅像(東京・上野)



©PIXTA

躍動感あふれる
りりしい軍装姿
に、足を止める
花見客も多い。
明治45年3月18
日に除幕式挙行

「赤十字を応援！」プレゼント パートナー企業紹介 vol.13 株式会社よーじや

コロナ終息への願いを込めて、アイデア商品と寄付をつなぐ京都の老舗



寄付のハンドクリームを受け取り、喜ぶ看護師たち(写真は京都第二赤十字病院)

1904年創業、舞台化粧道具の商いから始まった「よーじや」は、今では京都土産として定番となった「あぶらとり紙」や基礎化粧品など、幅広い商品を展開しています。コロナ禍では観光地・京都の老舗企業として、いち早く時短営業・休業を決断、外出自粛に協力しました。また昨年11月には、最前線で尽力する医療従事者が頻りに手洗いや手指消毒を行うことを気遣い、主力商品の「まゆごもり はんどくりーむ」5000個を日赤の医療施設に寄付しました。

今回のプレゼント商品「あぶらとり紙〜はんなりますく〜」は、新型コロナウイルスと闘う医療現場を応援するために考案された限定パッケージの「寄付つき商品」です。外装フィルムに桜色のマスクがプリントされており、よーじやのシンボルであるイラストの女性がマスク姿に見えるのが特徴。3冊組1組につき30円、5冊組1組につき50円が日赤に寄付されます。同商品は3万冊限定、京都市内の店舗やオンラインショップで購入可能です。

上記プレゼント希望者は、以下の項目を明記のうえ、郵送・FAX・WEBでご応募ください。①お名前 ②郵便番号・ご住所 ③電話番号 ④年齢 ⑤赤十字NEWS4月号を手に入れた場所(例/献血ルーム) ⑥4月号に関するご意見・ご感想

郵送/〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3
日本赤十字社 広報室 赤十字NEWS 4月号プレゼント係
FAX/03-6679-0785 WEB応募/右の2次元バーコードから応募ください。
4月26日(月)必着 ※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます

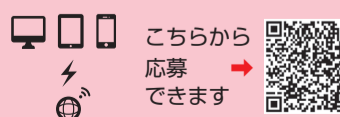
あぶらとり紙
〜はんなりますく〜5冊組

5名さまに



あの京女性がかわいらしいマスク姿に？
遊び心あふれる限定商品

商品写真はイメージです



こちらから
応募
できます

WORLD NEWS

シリア、終わりのない苦悩



シリア危機から10年 浮かび上がる残酷な実態

2011年3月、東日本大震災の直後に勃発した紛争は、現在もなお、シリアの人々を苦しめています。ICRC(赤十字国際委員会)の調査結果とともに、シリアの若者の“今”をレポートします。

破壊と喪失の10年

シリアの若者が払った大きな犠牲

第二次世界大戦後、最大級の人道危機といわれる「シリア危機」は、2021年3月で丸10年を迎えました。内戦によっていたるところが破壊され、2016年に停戦合意した後も先行きは不透明なまま。560万人以上が国外に脱出し、国内でも家や土地を手放して逃げる多くの避難民を発生させました。こうしたシリアの状況を踏まえて、ICRCはシリアやレバノン、ドイツで暮らす18~25歳のシリア出身の若者1400人を対象に調査を実施。その結果、浮き彫りになった



インタビューに答えるアフマドさん。ICRCの特設サイトで現在のシリアの街の様子や若者たちのメッセージが紹介されている。詳しくは上の2次元バーコードから

のは、シリアの若者が払った犠牲の大きさです。回答者の約半数は紛争のせいで収入を得られず、約77%は食料・生活必需品の入手に苦戦(レバノンで暮らす若者の場合この数字は約85%に上昇)。57%は何年も教育を受けられず、5人に1人が予定していた結婚を延期。また、シリアで暮らす若者は不安(73%)、抑うつ(58%)、睡眠障害(54%)などに苦しんでいます。

青年時代のほとんどを暴力で失った そんな彼らの肩に掛かる「復興」の使命

シリアから逃げ、隣国レバノンで苦しい生活を強いられているアフマドさん(23)。シリア危機が起きた当時は13歳、将来は数学教師になる夢がありましたが15歳から教育を受けられず、避難途中で負ったケガの後遺症で肉体労働もまなりません。そんな彼が現在の胸の内を語りました。「僕の村では大人も子どもも楽しいことが大好きで、いつも笑い声があふれていました。今いる場所には笑いはなく、全てが停止していて、ただ朝起きて、一日を過ごして夜になったら眠る、それだけの毎日です。親友を失った時、内臓の1つを失ったように感じてその感覚が今も続いています。ICRCのスタッフがこころのケアのボランティアに誘ってくれたのは救いでした。苦しんでいる人を

支えることができたから。でも、COVID-19ですれもできなくなりました」

アフマドさんのように、シリアの若者たちは10代・20代の大切な時期を紛争に奪われ、しかも未来においても、復興への険しい道のりの負担を否応なしに背負うことになります。ICRCジュネーブ本部のロバート・マルディーニ事務局長は次のように語ります。

「すべてのシリア人にとって、破壊と喪失の10年間でした。特に若者たちは、愛する人や機会、将来の見通しさえも奪われました」

さらに2020年は経済危機とコロナ禍がシリアを襲い、何百万もの人々がこれまで以上に困窮し、追い詰められました。現在、シリアの総人口約1939万人のうち約1340万人が人道支援を必要としています。これは東京都の人口(約1390万人)に匹敵する規模です。

日本では東日本大震災から10年がたち、被災地には復興の兆しも見えています。10年という時の流れは同じですが、シリアの紛争被害者にとってはわずかな希望も奪われ続けた10年でした。それでもなお、シリアの若者たちは母国を思い、明るい未来を必死に思い描こうとしています。日赤も彼らが立ち直るための支援を続けていきます。



© A.Saboh/ICRC

子どもたちの6人に1人は、両親の一方もしくは両方が重傷か死亡という悲劇に見舞われている



© ICRC

赤十字、 世界の「現場」から

supported by ICRC

ICRC(赤十字国際委員会)が展開する紛争地での保護活動や避難民の支援。その活動現場で切り取られた、知られざる世界の姿、世界の課題。

写真は2012年7月、激戦下のアレッポにて。戦火に巻き込まれた息子(包帯を頭に巻いている)を前に、嘆き悲しむ兄弟をなだめ、カメラをじっと見据える父親。その目と表情に、心を抉られる一枚。

当時のシリアでは、恐怖を植え付け抑圧するため、民間人が計画的に攻撃されていた。戦車や迫撃砲、戦闘機に加えて短距離弾道ミサイルが使われるようになると、その威力と衝撃波によってアレッポの一部が跡形もなく消滅し、人々の恐怖は極限に達した。撮影はリカルド・ガルシア・ヴィラノーヴァ(フリーカメラマン)。